

# 地元盛り上げに一役

平田建設

収穫祭の会場設営ボランティア



巨大な鍋を洗い、祭りの準備を進める職員

ほか一連「富秋土幌川下流地区実勝排水路中土幌19号西線工区」「帯広尾道帯広市幸福防護柵設置」の現場職員らを中心に作業を行った。

設営準備には職員15人が参加。おしるこや豚汁、うどんを振る舞うのに使われる「しほろジャンボ鍋」は一つの鍋に対して5〜6人がかりで運搬、清掃。また、机120台、椅子500脚

【帯広発】(株)平田建設(土幌、長谷川雅毅社長)は18日と20日、「第20回しほろ収穫祭」の開催に当たり、会場設営のボランティア活動を行った。祭りの名物の「しほろジャンボ鍋」の運搬や洗浄、会場設営や片付けに汗を流した。

地域貢献活動に積極的に取り組む同社では、本社が所在する土幌町への恩返しとして、20日に開催されたしほろ収穫祭においてボランティア活動を行うこととした。同イベントへの協力は今回がはじめて。

ボランティア活動は、設営準備の18日と、祭りの当日の20日に実施した。

十勝総合振興局発注の「畑地帯育成土幌南部第2地区62工区」、帯広開建設注の「富秋土幌川下流地区

を運んで並べた。

20日の収穫祭当日は、快晴のもと、約1万人が来場し、土幌の特産品などを堪能。祭りの終了後、職員20人が鍋や机、椅子などをきれいに洗い、倉庫に運んだ。

作業に当たった竹市友彦所長(富秋土幌川下流地区第1幹線明渠排水路東和基線工区)は「思っている以上に大変な作業があつて驚いた。地域住民の方々には普段からお世話になっているので少しでも力になれたら」と話していた。